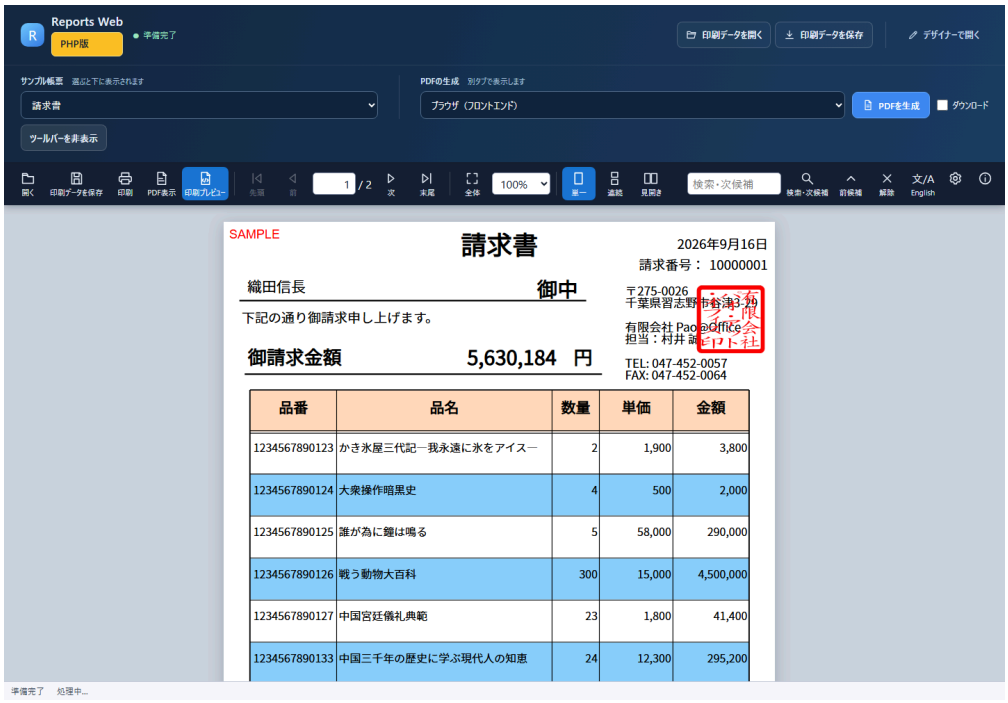
Reports Web ブラウザ版プレビューアーズガイド

PREPEJを開けば、ページをめくる、探す、拡大する、PDFへ出す、印刷する、そして完成した印刷データをもう一度保存できます。



目次

1. 印刷データを開く 3

2. 主な操作 3

3. 検索する 3

4. PREPEJを保存する意味 4

5. 表示面だけを組み込む 4

6. 印刷とPDF 4

7. 困ったとき 4

1. 印刷データを開く

保存では同じ帳票定義を共有して容量を抑えます。装飾文字は描画・編集せず、元の内容を保持します。

開くから`.prepej`を選ぶか、画面へドラッグ＆ドロップします。PREPEJには帳票定義とページごとの値が入っているため、同じファイルを保存して別のPCで開き直せます。

旧形式の印刷データ（`.prepe`。圧縮したものを含む）も、同じ方法で開けます。

2. 主な操作

操作	内容
開く／印刷データを保存	PREPEJの読込とダウンロード
印刷	ブラウザの印刷画面を開く
PDF表示／印刷プレビュー	PDF表示と通常のプレビューを切り替える
先頭／前／ページ番号／次／末尾	ページ移動
全体／幅／百分率	表示倍率
単一／連続／見開き	ページの並べ方
検索／次／前／解除	帳票内の文字を強調して移動
日本語／English	操作表示の言語切替
設定	ツール群と個別ボタンの表示切替
情報	製品情報とオンラインヘルプ

連続では、すべてのページを縦に並べてスクロールできます。ページ番号の欄は、見えているページに合わせて変わります。PageUp・PageDown・Home・Endでもページを移動できます。

ページ全体を見たいときは全体、横幅いっぱいに見たいときは幅、倍率を指定したいときは`100%`などを選びます。アプリ側から指定できる自動倍率（`setZoom('auto')`）は、小さな画面では全体、通常の画面では100%を選びます。倍率の選択欄に「自動」という項目があるわけではありません。

3. 検索する

検索欄へ文字列を入力して虫眼鏡を押します。該当文字が強調され、次／前で候補を移動できます。解除で強調表示を消します。文字が画像として埋め込まれている場合は検索対象になりません。

4. PREPEJを保存する意味

PDFは完成した閲覧・配布形式、PREPEJはReports Webで再び開き、別形式へ出せる印刷文書です。印刷データを保存は、開いたPREPEJの形（帳票定義とページごとの値）のまま保存します。ページごとに定義を展開しないので中身はほとんど増えませんが（色名の書き方の統一などで1割弱）、読みやすいように字下げして書き出すため、字下げのないPREPEJを開いて保存すると、ファイルの容量は元の1.6〜1.8倍ほどになります。監査用の保存、メール添付、サーバー間転送、後日の再印刷には、業務要件に応じてPREPEJも活用できます。

5. 表示面だけを組み込む

設定ですべて非表示にすると、ツールバーやステータスを消し、帳票の表示面だけにできます。業務アプリ側に独自のボタンがある場合や、ダッシュボードの一部へ帳票を埋め込む場合に使います。

設定ボタン自身も消えます。アプリに「ツールバーを表示」ボタンがある場合は、そのボタンで戻してください。組み込む開発者は、次のように**プレビュアーの外側**に戻すボタンを用意します。非表示にするだけで、戻す操作を用意しない構成にはしないでください。

```
const reports = viewer.contentWindow.ReportsWeb;
reports.hideAll();
await reports.setPrintData(printData);
await reports.setZoom('auto');

// 業務アプリ側のボタンから操作
document.querySelector('#next').onclick = () => reports.nextPage();
document.querySelector('#pdf').onclick = () => reports.exportPdf(true);
// このボタンはiframeの外側に置き、ツールバーを消しても残します。
document.querySelector('#showToolbar').onclick = () => reports.showAll();
```

再び標準UIを出す場合は`showAll()`、一部だけなら`setChrome(...)`または`setCommandVisible(...)`を使います。プレビュアー上の主要機能は外側からも操作できます。

6. 印刷とPDF

印刷はブラウザとOSの印刷機能を使用します。用紙、余白、倍率、ヘッダー／フッター等の設定が帳票を変えないか確認してください。PDFは画面表示またはダウンロードを選べます。業務保存用PDFは代表帳票でページ数、フォント、画像、罫線を確認します。

7. 困ったとき

- 一部しか見えない: 倍率から全体を選びます。
- 左側へスクロールできない: 最新のプレビュアー資源をHTML、CSS、JavaScript、WASMごと更新します。
- 画像が×になる: PREPEJ内の画像URL／data URIとアクセス権を確認します。

- 検索できない: 対象が文字オブジェクトか確認します。
- PDFだけ字体が違う: 実行環境のフォントとPDF用フォント設定を確認します。